

大地震想定避難訓練及び園児引き渡し訓練



10月18日(金)に南海トラフ型大地震を想定した避難訓練及び園児引き渡し訓練を行いました。非常ベルが鳴った後、「大きな地震が発生しました。お友だちは落ち着いて安全な場所に避難しましょう」という放送で、子どもたちは一斉に机の下や椅子の下に隠れて身を守りました。今回は雨が降っていた事もあり、担任の指示に従い、ホールに避難しました。ホールでは、園長先生や担当教師からのお話があり、全員で「お・は・し・も」のお約束について確認しました。その後、そのままホールで非常食のおにぎりを食べる訓練も行いました。

今年も一斉メールを利用し、保護者への引き渡し訓練も行いました。今年10月には台風19号により、東日本に記録的な大雨をもたらし、各地で洪水や土砂崩れ、河川の決壊で大きな被害が出ています。その他にも日本各地で震度5を超える地震が相次いでいます。毎年多くの災害が発生している中、今回の避難訓練を通して、日頃から防災へ備え、防災意識を持つことの重要性を改めて感じました。今後も、地震や災害に備えた安全教室や、年に一度の大規模な避難訓練も続けて、取り組んでいきたいと思えます。





非常食のわかめご飯

アルファ化米に水を入れて1時間で戻し、
ラップに包んで握りました。
コップ1杯ずつの水も用意しました。



「おいしい」と言いながら、
ほとんどの園児が
おにぎりを完食しました。

